



令和4年7月15日

医学部医学資料館 新収蔵資料

「島家旧蔵医学資料」公開記念講演会及び資料展示の開催について

情報提供

今春、爆心地として知られる島病院（現 島内科医院）の先祖（安芸区で開業していた医院）が収集した江戸時代後期から明治期にかけての貴重な医学文献資料164点が、広島大学医学部医学資料館に寄贈されました。

また、医学資料館では、新型コロナウイルス流行による閉館期間に館内の再整備を行い、約20年ぶりに展示のリニューアルを行いました。それらを記念して講演会を開催いたします。

講演会では、医学資料館の紹介や歴史資料との出会い、島家旧蔵の医学資料について、3人の方にご講演をいただきます。

どなたでも参加いただけますので、多くの方にご来場いただけるよう掲載いたしますと幸いです。

日時：2022年7月29日（金） 13時30分～15時00分

場所：広島大学霞キャンパス内 広仁会館大会議室
（広島市南区霞1-2-3）

講演者/演題

- ・「日本初の国立大学医学資料館 ～広島大学医学部医学資料館の気概～」
久保田 明子 氏（広島大学 原爆放射線医科学研究所・助教）
- ・「歴史資料との出会い ～『爆心地』 島病院の取材から～」
桑島 美帆 氏（中国新聞社 報道センター文化担当・記者）
- ・「島家旧蔵の医学書について ～江戸時代の西洋医学は命がけ？～」
石田 雅春 氏（広島大学 75年史編纂室・准教授）

参加費：無料

申込方法：広島大学医学部のホームページ（申込フォーム）から（定員60人）
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/med/news/71099>

- ※ メール、電話での申し込みも可能です。
- ※ 新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で開催します。
- ※ 今後の感染拡大状況等によっては、開催方法等に変更が生じる場合があります。
- ※ 企画展「島家旧蔵医学資料」は8月1日～31日に医学資料館で開催します。
- ※ 最新情報は随時WEB上に掲載いたしますのでご確認ください。

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部総務グループ
Tel : 082-257-5606 FAX : 082-257-5615
E-mail : kasumi-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）



広島大学医学部医学資料館

新収蔵資料「島家旧蔵医学資料」 公開記念講演会

2022年春、爆心地として知られる島病院(現 島内科医院)の先祖(安芸区で開業していた医院)が収集した江戸時代後期から明治期にかけての貴重な医学文献資料164点が、広島大学医学部医学資料館に寄贈されました。また、医学資料館では、新型コロナウイルス流行による閉館期間中に館内の再整備を行い、約20年ぶりに展示のリニューアルを行いました。それらを記念して講演会を開催いたします。

日時 2022年 **7月29日**(金)
13:30~15:00

会場 **広仁会館** (広島大学霞キャンパス)



入場無料・事前予約制
(先着60名)



国内初の銅版印刷による解剖図『内象銅版図』(奥)と『医療提綱』(「島家旧蔵医学資料」より)

※資料の展示期間については、
医学資料館ホームページをご確認ください。

主催 広島大学医学部
共催 広島大学原爆放射線医科学研究所
協力 広島大学図書館 / 広島大学文書館

【ご注意】
新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で開催します。
今後の感染状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合もございます。

◆講演会プログラム

「日本初の国立大学医学資料館
～広島大学医学部医学資料館の気概～」
久保田 明子 氏(広島大学 原爆放射線医科学研究所・助教)

「歴史資料との出会い
～『爆心地』島病院の取材から～」
桑島 美帆 氏(中国新聞社 報道センター文化担当・記者)

「島家旧蔵の医学書について
～江戸時代の西洋医学は命がけ?～」
石田 雅春 氏(広島大学 75年史編纂室・准教授)

◆講演会後に医学資料館での見学会があります。

お申込みはこちら ▶

<https://forms.office.com/r/4WMYngNvLi>

右記QRコードまたは下記連絡先までお申込み下さい。

【事前予約・お問い合わせ先】
☎ 082-257-5099(平日10~16時)
ishiry@hiroshima-u.ac.jp
(広島大学医学部医学資料館事務室)

